

# 平成21年度 キャリア教育事業成果報告書



大学教育・学生支援推進事業【テーマA】  
大学教育推進プログラム

## 自主を促す工学技術者 キャリア教育

正規授業と課外授業・活動とを複合的に  
活用したキャリア教育プログラムの構築

宮崎大学工学部

平成22年3月

# 「大学教育・学生支援推進事業」大学教育推進プログラム

## 「自主を促す工学技術者キャリア教育」の成果報告にあたって

工学部長 大坪 昌久

国立大学法人宮崎大学が発足して、約 6 年が経過しようとしていますが、第 1 期の中期目標・中期計画では教育改革を 1 つの目標の柱としています。工学部では、これまで平成 12 年度に工学部全体の外部評価、平成 13~14 年度に大学評価・学位授与機構の分野別評価「工学系」の受審を経て、高度専門職業人の育成や地域と連携した教育研究活動などに取組んで来ました。また、これらの取組みの自己点検を行い、平成 15~17 年度に全学科が外部評価を受審しました。平成 19 年度に宮崎大学として大学機関別認証評価を受け、その中で工学部の教育改善の取組みは高く評価されました。

一方、工学部では 1 万人の卒業生を送り出したのを機に、創立 60 周年記念行事を挙行するとともに、各学科の先輩による連続講演会「先輩から後輩に伝える技術者のこころざし」を実施してきました。また、FD に関する講演会や意見交換会を実施するとともに、FD 委員会設置し、学生による授業改善アンケート等を実施して授業改善に取り組むシステムを構築しました。これらの教育改善の一環として、日本工学技術者認定機構（JABEE）による技術者教育プログラム受審に取り組み、平成 15 年度の土木環境工学科を皮切りに、物質環境化学科、電気電子工学科、機械システム工学科、情報システム工学科が次々と認定を受け、材料物理工学科も平成 22 年度の受審（平成 23 年度認定）を目指しています。

また、工学部は文部科学省の特別研究経費（教育改革）に応募し、「実践型専門技術者を育成する学部教育の充実」（平成 17~19 年度）と「農工連携等による先端的・融合的教育分野の充実」（平成 17~18 年度）を採択されました。さらに、文部科学省・若手研究者育成経費「魅力ある大学院教育イニシアティブ」（平成 17~18 年度、略称大学院 GP）にも採択されました。加えて、経済産業省のパートナーシップ人材育成事業として「太陽光発電関連産業のニーズに応える高度専門性を持つ人材育成プログラム」（平成 21~22 年度）に採択され、地域企業等と連携した高度専門技術者育成に取組んでいます。

このような数多くの教育改革を受けて、文部科学省の大学教育・学生支援推進事業「自  
主を促す工学技術者キャリア教育」（平成 21～23 年度）では、専門的な知識習得に加え、  
学生の社会性やコミュニケーション能力の向上を図り、課外授業などの取組み充実を目指  
しています。また、学生の自主性を引き出し、キャリアアップに取組んでいます。

最後に、これらの取組みにおいては、どのようなことが実施されたかではなく、どのよ  
うに学生の意欲の向上につながったか、どのような成果が得られたかが評価されます。ま  
た、各学生のキャリアアップへ取組みが就職や進路選択へつながることも期待されていま  
す。この報告書が、第 2 期の中期目標・中期計画の達成に応えるものに発展することを祈  
念しています。

# 目 次

## 第1章 教育の質の向上への大学等の対応について

第1節 人材養成目的の明確化	1
第2節 成績評価基準等の明示等	4
第3節 ファカルティ・ディベロップメントの実施	6
第4節 自己点検・評価等の実施体制・展開と評価結果の反映	6
第5節 宮崎大学工学部が既に実施している主な教育改善の取組	7
第6節 中教審答申と工学部既実施取組の関係	8
第7節 大学の基礎情報	11

## 第2章 自主を促す工学技術者キャリア教育の取組計画

第1節 取組概要	18
第2節 取組の趣旨・目的・達成目標	19
第3節 取組の具体的な内容・実施体制等	20
第4節 取組の評価体制・評価方法	24
第5節 取組の内容、経過、成果等の積極的な情報提供の方法	25
第6節 取組の実施計画	25
第7節 取組で期待される成果	28

## 第3章 平成21年度自主を促す工学技術者キャリア教育の取組成果

第1節 平成21年度の取組目的、事業実施計画・内容および期待される成果	29
第2節 取組結果	31
第3節 取組達成度の自己評価	134

